

授業科目 NO.402 基礎看護技術論Ⅱ (生活援助技術)

Fundamental Nursing Skills II (Daily Care)

授業の形態： 演習

単位数 (時間数)： 2 単位 (60 時間)

開講年次・学期： 1 年次・後期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 生活援助技術、看護技術の安全・安楽・自立・経済性、
食事、排泄、姿勢と移動、休息と睡眠、衣類の選択と着脱、
体温の維持、皮膚の清潔、安全で快適な病床環境

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 修 目 標

1) 一般目標 (GIO)

看護の対象となる個人・家族・集団が、最適な健康状態でその人らしい日常生活を営むために必要な援助技術 (生活援助技術) について学び実施できる。看護の目的でもあり、基礎看護技術の中核でもある、安全・安楽・自立の意味と行為を考察するとともに、コミュニケーション力を涵養する。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 人体の構造と機能の知識を活かし、生活 (食事、排泄、姿勢と動作、睡眠と休息、衣類の選択と着脱、皮膚の清潔、安全で快適な病床環境) に対する各援助技術についてエビデンスを述べることができる。(②)
- (2) 対象に提供する生活援助技術は、安全・安楽・自立・経済性を考慮する必要性があることを述べることができる。(①②)
- (3) 学生間で、食事 (食事介助)、排泄 (腰背部・腹部の温罨法)、姿勢と移動 (体位変換、ボディメカニクス、車椅子・ストレッチャーでの移動)、休息と睡眠 (足浴)、衣類の選択と着脱 (寝衣交換)、体温の維持 (罨法)、皮膚の清潔 (清拭、洗髪、陰部洗浄・おむつ交換)、安全で快適な病床環境 (スタンダードプリコーション、ベッドメイキング、リネン交換) が実施できる。(①②)
- (4) 生活援助を受ける対象の気持ちに配慮し、対象への説明と同意や対象の反応に合わせたコミュニケーションの必要性を述べることができる (①②)。

3 学 修 内 容

授業の内容、修得技術については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	50%
実習成績	%
レポート・小テスト	20%
授業態度	%
技術試験	30%
合計	100%

(特記事項)

定期試験成績および実技試験については、各評価割合の6割に満たない場合は再試験の対象となる。

5 教育担当者

科目責任者：松井 希代子（基礎看護学）

教授 松井 希代子（基礎看護学）
 講師 宮永 葵子（基礎看護学）
 講師 石井 和美（基礎看護学）
 嘱託講師 杉森千代子（基礎看護学）
 助教 釜谷 友紀（基礎看護学）
 非常勤講師 宮崎 彩乃

6 教科書

- 1) 茂野香おる他著：系統看護学講座専門分野 I 基礎看護学[2] 基礎看護技術 I、第 18 版、医学書院
- 2) 藤野彰子他編著：改訂版 看護技術ベーシックス、第 2 版、サイオ出版

7 推薦参考書

村中陽子編：学ぶ・活かす・共有する看護ケアの根拠と技術、第 3 版、医歯薬出版株式会社

8 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

講義・演習 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 45 分程度必要です。

初回のガイダンス時に説明を加えますが、概要を以下に示します。

- 1) 演習前に、学修内容に関する事前課題があり、それを活用して授業を行います。
- 2) 指定教科書や電子シラバス等で講義・演習内容範囲を事前に確認し、必要物品の準備や授業の展開を把握して出席してください。

9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 提出されたレポートについてコメントして返却します。
- 2) 試験に関しては、希望者には解説・正解を解説し返却します。

10 履修上の注意事項

- 1) ここで扱う生活看護技術は、2年生の基礎看護学実習Ⅱで実際の患者に提供する技術です。そのため、よく聞く、よく見る、よく練習して、よく振り返っていただきたい。演習の場が貴重な体験になることを期待します。
- 2) 講義も含め、グループで活動することが多いです。「おやっ」と素朴に感じたことを口に、他者の意見に真摯に耳を傾けていただきたい。自分たちの手で、評価を受ける場ではなく、学修する場に変えていくことを期待します。

11 オフィスアワー等

質問は随時可。但し、事前にメール連絡が望ましい。

松井：mkiyoko@kanazawa-med.ac.jp

杉森：sugimoli@kanazawa-med.ac.jp

第1学年

基礎看護技術論Ⅱ

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月04日(水)	1	講義	ガイドランス 日常生活の援助を受ける人の心理 環境のさまざまな危険因子を避け、また他者を傷 害しないようにする		基礎看護学	杉森囁託講師
後	2	10月04日(水)	2	演習	身体の位置を動かし、またよい姿勢を保持する 自然な姿勢での援助(ボディメカニクス) 療養生活のための環境整備	レポート	基礎看護学	宮永講師,杉森囁託講師
後	3	10月11日(水)	1	演習	快適な病床環境の整備(ベッドメイキング)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井 講師,杉森囁託講師,釜谷 助教
後	4	10月11日(水)	2	演習	快適な姿勢への整え(体位変換)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井 講師,杉森囁託講師,釜谷 助教
後	5	10月18日(水)	1	講義	療養環境におけるベッドの構造・機能 基本寝具と体圧分散寝具	レポート	基礎看護学	宮永講師,釜谷助教
後	6	10月18日(水)	2	演習	快適な病床環境の整備(リネン交換)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井 講師,杉森囁託講師,釜谷 助教
後	7	10月25日(水)	1	講義	休息と睡眠の援助		基礎看護学	杉森囁託講師,釜谷助教
後	8	10月25日(水)	2	講義	休息と睡眠の援助(呼吸法・マッサージ・電法)	レポート	基礎看護学	杉森囁託講師,釜谷助教
後	9	11月01日(水)	1	演習	感染経路の遮断(スタンダードプリコーション)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井 講師,杉森囁託講師,釜谷 助教
後	10	11月01日(水)	2	講義	身体を清潔に保ち、身だしなみを整え、皮膚を保 護する 清潔ケアに共通した方法と留意点	小テスト	基礎看護学	杉森囁託講師,釜谷助教
後	11	11月20日(月)	1	講義	衣類の調節と環境の調整により、体温を生理的範 囲内に維持する		基礎看護学	杉森囁託講師,釜谷助教
後	12	11月20日(月)	2	演習	適切な衣類の着脱(寝衣交換)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井 講師,杉森囁託講師,釜谷 助教
後	13	11月22日(水)	1	演習 講義	皮膚の清潔の保持(足浴)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井 講師,杉森囁託講師,釜谷 助教
後	14	11月22日(水)	2	演習	皮膚の清潔の保持(足浴)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井 講師,杉森囁託講師,釜谷 助教
後	15	11月29日(水)	1	演習 講義	皮膚の清潔の保持(清拭/洗髪/入浴・爪切り)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井 講師,杉森囁託講師,釜谷 助教

第1学年

基礎看護技術論Ⅱ

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	16	11月29日(水)	2	演習 講義	皮膚の清潔の保持(清拭/洗髪/入浴・爪切り)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教
後	17	12月06日(水)	1	演習 講義	皮膚の清潔の保持(清拭/洗髪/入浴・爪切り)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教
後	18	12月06日(水)	2	演習 講義	皮膚の清潔の保持(口腔ケア)	クlickカー/レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教
後	19	12月13日(水)	1	演習	皮膚の清潔の保持(陰部洗浄・おむつ交換)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教
後	20	12月13日(水)	2	演習	皮膚の清潔の保持(陰部洗浄・おむつ交換)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教
後	21	12月20日(水)	1	講義	皮膚の清潔の保持のケアのまとめ ケアを受ける患者の心理	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教
後	22	12月20日(水)	2	演習	身体の移動の補助(車椅子・ストレッチャー/対象に合わせた車椅子移送)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教
後	23	1月10日(水)	1	講義	適切に飲食する 摂食行動の援助(経口/非経口栄養法)		基礎看護学	杉森囑託講師,宮崎非常勤講師
後	24	1月10日(水)	2	演習	摂食行動の援助(食事介助)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教
後	25	1月17日(水)	1	講義	あらゆる排泄経路から排泄する(排尿・排便)		基礎看護学	杉森囑託講師,宮崎非常勤講師
後	26	1月17日(水)	2	演習	生活援助技術の統合 対象に合わせた技術		基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教
後	27	1月24日(水)	1	演習	排便の整え(便器・尿器の取り扱い方/腰背部・腹部の温電法/腹部マッサージ)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教
後	28	1月24日(水)	2	演習	排便の整え(便器・尿器の取り扱い方/腰背部・腹部の温電法/腹部マッサージ)	レポート	基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教
後	29	1月29日(月)	3	演習	生活援助技術の統合 対象に合わせた技術		基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教
後	30	1月30日(火)	3	演習	生活援助技術の統合 対象に合わせた技術		基礎看護学	松井教授,宮永講師,石井講師,杉森囑託講師,釜谷助教